

Weekly Report

2016~2017 年度 第 51 期会長テーマ

『友情を深めよう！
仲間と感動するロータリー』

例会日 毎週 木曜日
 例会場 産業文化センター
 事務局 多治見市新町 2-23-4F
 TEL 0572-25-5100
 FAX 0572-25-5101
 Email n-rc@joy.ocn.ne.jp
 H P http://tajiminishi.jimdo.com
 会長 中島 竹壽
 幹事 加藤 真左子



6月の花（アジサイ）

第 2464 回例会 2017 年 6 月 1 日

6 月は R 親睦活動月間

本日のプログラム

点 鐘

国歌斉唱 君が代
 ロータリーソング 奉仕の理想
 四つのテスト

会長挨拶
 出席・スマイル報告
 委員会報告
 理事会報告
 幹事報告



卓 話 米山委員会担当
 山田正史君
 「出前講座の紹介」
 「次期補助金による活動について」

点 鐘

6 月の例会行事

1 日	卓話 米山委員会担当 山田正史君「出前講座の CD 紹介」 「次期補助金による活動の説明」
8 日	卓話 親睦委員会担当 佐藤八郎君「ロータリーの友より」
15 日	卓話 会長担当 株式会社カクジン 水野清司様 「窯業原料枯渇問題について」
22 日	最終例会 ラ・シック モア 点鐘 18:00

6 月 16 日（金）

東濃グループ会長・幹事・事務局連絡会議

時間：17 時 30 分 場所：長多喜

7 月の予定

7 月 6 日 第 52 期定例理事会 特別会議室 11:15
 第 51 期臨時理事会 例会後例会場

第 51 期会計監査について

日時 6 月 29 日（木）13:00 図書室
 出席者 会長 幹事 会計
 会計監査（関谷好弘 服部賢治）

会長挨拶 中島竹壽

「はやぶさ2」

日頃からロータリー活動にご協力頂き有難うございます。今回は「はやぶさ2」のお話です。小惑星探査機「はやぶさ2」は「はやぶさ」の後継機です。目的は「りゅうぐう」という小惑星を探査しサンプルを持ち帰る役割があります。「はやぶさ2」は2014年12月3日に鹿児島県の種子島宇宙センターから打ち上げられ小惑星「りゅうぐう」到着は2018年、地球に帰還するのは2020年オリンピックの年にオーストラリアウーメラに帰還予定です。地球の歴史で、一番古い物質がアミノ酸であり、そのアミノ酸から生物が生まれたことは現在の地球上の化石で分かりますが、「じゃあ、アミノ酸はどこから来たの？」という疑問が生まれました。そこで「はやぶさ2」は、アミノ酸がどこからきたのかを調べるため「りゅうぐう」という小惑星へ行って惑星の表面の物質を取るのが目的です。惑星に銅の玉をぶつけて穴をあけそこからサンプルを取り出します。小惑星に向かって銅の玉を打つと跳ね返りで問題が起きそうですが、すぐに小惑星の裏側に逃げて、ほとぼりがさめたころ表面に戻り穴のあいた表面に降りていくそうです。なんとロマンのある話だなと思います。



着信書類

- ・6月のロータリーレイト 1ドル110円
- ・多治見少年少女合唱団より「第43回定期演奏会」CD 拝受

先週の記録 ● 出席報告

会員数 37名 免除者 3名 出席義務者 34名

出席者	欠席者	出席率
25名	9名	73.52%

メーカーカード提出者

黒川公男 (地区会員増強セミナー)

第51期平成28年7月から平成29年5月までの出席率

7月	82.27	1月	82.52
8月	87.05	2月	80.97
9月	78.04	3月	80.47
10月	83.64	4月	80.11
11月	77.56	5月	79.55
12月	80.55	平均	81.60

※ 最高出席率 7/21 ガバナー補佐訪問 91.66%

●スマイル報告 投函者 19名 金額 21,000円
5月末現在残高 1,035,066円

ロータリーの例会の一時間は神様になる時間だ。人間性を取り戻す時間だ。和・敬・礼・楽の精神が

共存する異次元の世界だ。(アイサーブより)

佐藤八郎

5月のお祝い例会

齋藤明副会長挨拶

結婚記念日 古田徳夫君



熊本地震の1年後を見て 山田正史

私は昨年熊本地震災害で九州へ出向しておりました。最初は熊本の災害対策室へ行くように言われていましたが、熊本のホテルの被害が大きく、宿泊出来ないから久留米で災害対策室を立ち上げて欲しいと言われてまして、4人ほどの各地から出向した建築士により立ち上げました。これが昨年の4月下旬でした。途中福岡に移りまして昨年の12月の災害対策室解散まで皆ここで被害者の方への地震保険の算定をしておりました。地震保険は特別で、最終は国が関与して少しでも早く算定して生活費としての役目を果たすことが大切であります。壊れた建物の修理等をするためでは無いのです。よって地震保険は破産することは絶対にありません。熊本地震より1年が過ぎたので、現在の熊本、益城町、南阿蘇村がどのようになっているのか自分の目で確かめるため5月20日より2泊3日で行ってまいりました。まず驚いたことは、幹線道路への崖崩れと道路崩落の工事による片側通行の多さでした。遠くに一人の方が犠牲になった阿蘇大橋部分の大崩落を見たときは胸が痛くなりました。南阿蘇村内の山の崩落の多さ、これによる道路の通行止め、まだまだ復旧は・・・と思いましたが、益城町で1人の方に地震時の状況を詳しく聞くことが出来ました。これによると余震が最初に来て次に本震が来た、これほど怖いことは無い、普通はこれの逆が地震。考えられない、そして被害もこれによりとても大きくなったと言って見えました。先進国の日本です。大至急お金の使い道考えて投入して復興をしてもらいたいものです。

“復興なくして・・・” スピードです
6年になる東北地震1年が過ぎた熊本地震
まだ仮設住宅生活です。 “ガンバレ日本”

来週(6月8日)の予定

親睦委員会担当

卓話 佐藤八郎君 「ロータリーの友より」



熊本県